

【参考資料】

令和6年度地域経営推進費 事業評価結果一覧表

市町村事業

県北広域振興局

名称		金額		事業コード			評価結果	
No.	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
1	いわて北三陸⇄中心市街地シャトルバス運行事業	久慈市	2,542,100	1,456,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	道の駅「いわて北三陸」について、久慈北インターチェンジの近接立地による利便性の高さから、開業から1年を経過した大型連休の公休日においても1日あたりの平均来場者が1万人を超える結果となり、その集客力を改めて実感したところである。 公共交通機関の利用ニーズは想定を下回ったところだが、当該施設が存在が三陸沿岸道路の利用者を久慈市に立ち寄せた実績は明確であることから、当該施設を玄関口とする中心市街地への誘客に向けて、今後の更なる工夫により、施設の設置効果の拡充を図ることとする。
2	久慈市中高生海外派遣研修事業	久慈市	5,339,349	2,777,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	ソフト	中高生の派遣人数は目標人数の5名を派遣することができた。 5年振りの事業実施となったが、久慈市国際姉妹友好都市であるフランクリン市との交流を通して、見聞を広め、広い視野を養い、今後の国際社会において地域貢献を担う生徒の育成に寄与された。 また、海外派遣研修を終えた後は市民を対象に報告会を行い(参加者44名)、研修で得た成果を発表して地域への還元を行い、国際社会参加意識の高揚が図られ、ひいては姉妹都市の認知度アップにも繋がったものと捉えている。引き続き、姉妹都市の認知度アップを図りながら、より一層充実した事業となるよう支援を行う。
3	ロケ地連携情報発信・交流事業	久慈市	495,000	269,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	応援マネージャーののんさんが取材に出向いた様子を掲載したことで、実際に取材場所を訪れる観光客もおり、観光振興と誘客に寄与するものであった。通常の観光ガイドブックよりも手に取る人が多かったと感じている。この取り組みにより、観光で一度訪れるだけでなく、リピーターとなり当地域を訪れていただき、関係・交流人口の拡大に繋げたい。
4	琥珀と恐竜化石を活かしたまちづくり事業	久慈市	2,363,049	1,575,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	成果指標は目標に達し、琥珀と恐竜化石を活かしたまちづくりについて市民の認知度の向上は図られている。 まちづくり直送便を利用し、琥珀と恐竜化石を活かしたまちづくり事業に関する講演を、市内小学校から依頼され実施した。関心が高まっていることの表れであり、引き続き子供から大人まで認知を広め、さらに効果的に事業を実施していく。
5	ギンザケ養殖施設リース補助金	久慈市	6,733,000	3,673,000	5 市町村事業	6 農林水産業	ソフト	事業開始以降、着実に目標を上回る成果を上げている。 ギンザケ養殖事業は、久慈市における新たなチャレンジであり、リスクを伴う事業であることから、事業開始直後の運営を支えるため引き続き支援を行う。
6	アンバーホール合唱祭	久慈市	297,556	192,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	ソフト	今回の合唱祭は、約10年ぶりの開催でありながら、市民や関係団体からの高い関心と協力を得て、大変意義深いものとなった。コロナ禍により長らく活動が制限されていた合唱団体にとって、発表の場を持つことは、団体活動再開への契機となるとともに、活動継続への意欲の向上にもつながった。 また、合唱ワークショップと連動する形での実施により、初心者や若年層を含む幅広い層が参加できる体制が整い、合唱の裾野を広げる機会にもなった。特に、沿岸地域の高校生による特別出演は、地域間の文化的連携を生む契機となり、今後の広域的な交流展開に向けた基盤づくりとしても評価できる。 これらを踏まえ、本事業は単なる催事に留まらず、地域に根差した合唱文化の振興と新たな担い手育成、そして世代・地域を越えた「つながり」の創出を体現したものである。来年度以降も継続して開催し、より多様な世代・地域からの参加を得られるような体制の整備とPRの強化を図っていききたい。
7	鶴鳥神楽国指定10周年記念事業助成金	普代村	1,555,000	1,036,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	ソフト	巡行やイベントへの出演は例年行っていることだが、大きな会場で公演することで、巡行には行きにくい方や村外の方などが鑑賞できる機会となった。記念公演で多くの来場者があることは保存会活動のモチベーションとなり、記録誌を配布することで鶴鳥神楽への興味や学びが深まり、これからも継続していく伝承活動にプラスとなる事業だった。
8	恋する灯台プロジェクト推進事業	普代村	1,026,466	684,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	初の開催ながら71作品の応募があり、全国からの参加も見られた点は評価できる。一方で、募集開始の遅れにより応募期間が短縮され、参加者数が目標に届かなかった点は課題である。宿泊者数は観光利用全体では目標を達成したが、コンテストが直接寄与したとは言い難く、宿泊プランの導入が今後の検討課題となる。黒埼灯台の認知度向上には一定の成果があり、今後は更なる誘客促進の仕掛けを強化していく必要がある。

令和6年度地域経営推進費 事業評価結果一覧表

市町村事業

9	昆布ブラザーズPR事業	普代村	2,106,755	1,404,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	<p>昆布ブラザーズ生誕10年を記念し、地域の賑わい創出と関係人口の拡大を目的に開催。ゆるキャラを活用した広域交流や地場産品のPRが実現し、普代村の魅力発信に貢献した。一方、来場目標が高すぎたことや、11月末の寒さ・強風による影響が課題として残った。</p> <p>今後は天候リスクを考慮した開催時期や会場の工夫、集客施策の強化が求められる。全体としては、多くの参加者と交流が生まれ、地域活性化に一定の成果をもたらした。</p>
10	普代村地域特産品魅力発信事業	普代村	1,850,000	1,233,000	5 市町村事業	2 食産業	ハード	<p>今回事業を実施したことにより、新たに冷凍自販機で販売することを想定した新商品に係る事業者の動機付け及び付加価値向上の意識醸成につながった。また今後商品を凍結することにより消費期限を延長する観点ばかりではなく、急速冷凍技術の活用など新たな取り組みを行って行きたい。</p>
11	追手門学院大学との学官連携推進事業	普代村	781,979	521,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	ソフト	<p>追手門学院大学との学官連携推進事業は、今年で10年目となり「普代水門絵本」をはじめ、様々な成果品等の制作を実施してきた。今年度成果品である鶴鳥神楽の英語版リーフレットを鶴鳥神楽のイベント等で活用し、今後、修正等模索しつつ成果品の完成度を高めていく。また、長期計画案を検討する事で取り組み内容の明確化を図り、長期にわたり連携事業の交流を図っていく。</p>
12	道の駅青の国ふだい開業周年記念イベント支援事業	普代村	1,693,130	333,000	5 市町村事業	9 防災・危機管理	ソフト	<p>ふだいまつりと同時開催としたことで各イベントを単独開催するよりも内容の充実が図られ、イベント全体での来場者の増加につながり地域活性化と村内経済循環に寄与することができた。また、イベント来場者が震災パネル展示にも立ち寄ることから、防災意識を高めるイベントとしての効果も高い。</p> <p>一方で、道の駅としての売り上げにもつながるよう、商品企画や販売方法等について今後更なる工夫が必要である。</p>
13	「誇れる地域資源を生かした産業・文化・防災」総合情報発信事業	普代村	5,978,784	1,023,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	ソフト	<p>3年目となった本事業では、震災学習の受入数が増え、震災の記憶と教訓を多くに方々に伝えることができた。また、引き続きラジオを活用して、村の旬な話題や伝統文化、村民紹介、イベント情報など、番組やCMを通じて村内外へ情報発信することができた。リスナーメッセージをみると、毎年あるいは毎回聴いていただいた方々も多く、ラジオの活用促進にもつながったと考えられる。</p>
14	黒崎キャンプ場施設整備事業	普代村	3,916,000	2,610,000	5 市町村事業	3 観光産業	ハード	<p>腐食していたベンチ・テーブルを撤去(新設)することで、施設の利便性や景観も向上し、木造から擬木にすることで従来よりも長期間で使用することができる。</p> <p>今後のレジャーシーズンにおいて多くの利用者が訪れることが期待される。</p>
15	山村地域(横合地区)課題検討事業	野田村	1,472,900	981,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	ソフト	<p>当該事業は、NPO法人SETに委託し実施したもの。交流した住民の中には毎月訪れるSETとの再開を待ち望んでいる住民がいるなど、プログラムの構築・実施における土壌の育成がなされていたと感じた。</p> <p>また、実施にあたり大学生などの若い世代も横合地区との交流に自発的に参加し、プログラムの構築を進めていたことから、担い手となる若者が生まれるきっかけが生まれているとも思えた。</p>
16	多職種連携教育事業	野田村	2,414,656	1,609,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	ソフト	<p>本村で数多く行われている全国各地の大学によるフィールドワークの中でも、目的や参加のターゲットが明確なものであり、人材確保、関連団体との関係構築、交流人口など、多面的な効果が期待できる。効果の最大化を図る観点から、持続性の確保も考慮し進めるべき内容と評価する。</p>
17	十府ヶ浦海岸活用促進事業	野田村	3,740,000	2,493,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	<p>地域の子どもたちをはじめとする村民が地元の自然に安全に触れる環境を整備することによる地域への更なる愛着醸成と観光振興として十府ヶ浦海岸を利用することによる野田村の認知度向上等の多面的効果があった。また、今年度は機械破損によりお盆期間にオープンすることができなかったことから、帰省客からの問合せが多く寄せられた。そのため、地域の子どもだけでなく、帰省客からのニーズもあると感じた。</p> <p>更なる地域への愛着醸成や認知度向上を目指し、継続して実施していく。</p>
18	野田村フォトゲイニング事業	野田村	600,000	400,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	<p>村外からの参加者に対して野田村の魅力を知ってもらうことができた。また、村内参加者には、車でしか通らない道や実際に訪れてみることの少ない箇所等、日常生活では知らない野田村の魅力を知っていただくことができた。</p> <p>今後も村内外の参加者に野田村の魅力を発見・再認識していただくため、継続して実施していく。</p>
19	震災学習モデルコース造成事業	野田村	2,082,638	1,388,000	5 市町村事業	9 防災・危機管理	ソフト	<p>全体として予定どおり事業を実施し、効果に関しては想定を上回る面もあった。</p> <p>3年間の事業実施を経て、本村の震災学習プログラム「未来の命へ生かす“時速3km”の震災学習」が少しずつではあるが、ある種のブランド力を持ち始めていると感じられる。今後も地道に少しずつブラッシュアップを図りながら、地域振興における位置づけというマクロ視点も忘れずに事業を継続していきたい。</p>
20	十府ヶ浦公園遊具整備事業	野田村	29,065,300	2,240,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	ハード	<p>本事業により新しい遊具を増設したことで、既存遊具の設置効果が促進されるとともに、村内のみならず、村外から多くの親子連れを呼び込み遊んでもらうことで、関係人口の増加や人口減少の緩和につながるものと考えられる。</p>

令和6年度地域経営推進費 事業評価結果一覧表

市町村事業

21	おおのキャンパス活性化構想策定事業	洋野町	5,417,595	3,611,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	おおのキャンパス活性化構想に基づき、魅力的な施設づくりにむけて、できるところから対策を講じるとともに、令和7年度の基本計画策定に取り組むなど、評価と振り返りを継続して行う。
22	海から紡ぐ洋野町PR事業	洋野町	2,836,384	1,890,000	5 市町村事業	2 食産業	ソフト	海洋環境の変化による不漁が長引いており、本事業により側面的に水産業の支援ができたと考える。また、種市高校の7年度入学者も定員割れの見込みであるが、南部もぐりや潜水技術を学べる魅力を引き続きPRし、技術確保と将来の担い手確保につなげたい。 7年度の催事開催地は未定であるが、PR効果を充分考慮のうえ会場を選定し、事業の実効性を高めるよう取り組みたい。
23	二戸まつり「陸奥の土風」再現事業	二戸市	4,500,000	600,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	数値目標は達成できなかったものの、昨年度より参加者を増加させることができた。また、再現範囲を拡大するとともに、馬を借用したことで忠実な再現に近づけることができた。
24	漆原木調査事業	二戸市	13,035,000	8,690,000	5 市町村事業	6 農林水産業	ソフト	前回調査箇所及び前回調査以降に植栽した箇所の調査のみならず、調査の過程で新たに漆林を発見することができた。 現在採取可能な原木資源に限られた現状において、実りある情報を得ることができた。
25	二戸市産業活性化促進事業	二戸市	3,000,000	2,000,000	5 市町村事業	2 食産業	ソフト	目標を上回ることが出来たが、イベントの周知不足やPR力が足りず、売上金額が昨年度より落ちているため、より多くの方々に市内産業をPRできるように努めていきたい。
26	レンタサイクル導入事業	軽米町	1,650,000	1,100,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	令和6年2月にハイキューの映画が公開されたことにより、令和6年度のファン来町数も増え、夏休みに入った7月以降の休日は自転車全てが貸し出され、配置台数以上の利用があるほどの人気だった。 時間単位での貸し出しを希望する声もあったが、管理が煩雑となるが見込まれるため、来年度以降の利用方法は今年度同様の利用時間内での利用1回あたりの金額を設定する方向で検討している。
27	かるまい文化交流センター開館記念事業	軽米町	11,948,087	7,412,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	ソフト	町の中心的施設である文化交流センターを有効に活用し、賑わいの創出、交流人口の増加を図ることができた。また、町や関係団体以外が主催するイベントも開催されるなど、町全体の活性化が図られている。 次年度以降も、関係団体と連携を図りながら交流センターを活用した事業を展開していきたい。
28	高齢者等ごみ出し支援事業	軽米町	796,454	461,000	5 市町村事業	8 子育て・福祉	ソフト	高齢者や障害者ができる限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むためにも重要な事業であることから、今後も事業の周知等を行いながらサービス利用者の増加を図りたい。
29	地域おこし協力隊移住定住支援事業	九戸村	802,326	534,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	ソフト	地域おこし協力隊の人数に関しては、目標を上回る実績となった。今後も引き続き、村の情報を発信していけるよう、相互協力をしていく。 移住フェアのブース来訪者に関しては目標を下回る実績となった。次年度は集客方法を工夫し、積極的にPRできるようにしていきたい。
30	地域の誇り継承事業	九戸村	3,881,000	2,587,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	ソフト	閉校する5校それぞれがこれまでの歴史を振り返り、思い出を語り合い、郷土愛をさらに深めることができた。記念誌の作成や記念碑の建立など、実施した内容は似ている部分があるが、それでも描かれる内容は各校のオリジナルで作成されており、5校それぞれの特色があった。 この事業により在校生の保護者はもとより卒業生や地域の方々とたくさん話し合いや打合せが開催され、地域の絆がより一層深まった。各校の思い出を胸に新しい歴史をつくっていくという未来に向けた共通意識が、関わったすべての住民に共有できた。
31	スポーツ世代間交流事業	九戸村	2,186,812	1,457,000	5 市町村事業	8 子育て・福祉	ソフト	地域の指導者はお勤めの方がほとんどで、仕事の合間を見て指導していただいているが、毎週定期的な指導時間を確保出来ないというのが現状である。 指導者が不在の時でも、保護者(育成会)の代表者の見守りのもと、子供たちは自主練習を行っているが、大会の引率の場合は大会参加のために指導者の資格が必要な大会もある。 大会引率時に指導者が不在とならないよう指導者の人員増を行い、活動の機会損失を防ぐとともに、指導者の格付けを行い、主となる指導者と補佐的な指導者を配置することで、指導内容を一貫したものとし、活動内容にムラが出ないようにする工夫が必要だと感じた。
32	高齢者に優しい公共交通構築事業	九戸村	1,752,325	1,168,000	5 市町村事業	8 子育て・福祉	ソフト	デマンド交通の利便性向上とタクシー利用の促進を平行して実施したことにより、高齢者の多様なニーズに対応することができた。 デマンドバス利用者数の当初掲げた目標値が、現実から乖離しすぎていたため、達成度が極めて低い数字となってしまった。

令和6年度地域経営推進費 事業評価結果一覧表

市町村事業

33	中山間地域農業後継者育成事業	九戸村	123,200	82,000	5 市町村事業	6 農林水産業	ハード	納品後である8月上旬から活用し農家巡回の際に利用した。これまで各生産者は温度計による温度管理を行っていたが、サーモグラフィーによりハウス内の温度状況を確認することができ、空調管理により適切な栽培が行えた。今回は中間時期からの使用となったが、翌年以降は通年して計測を行い、高温支障による農作物被害を軽減できるよう取り組んで参りたい。
34	集客交流促進事業	九戸村	2,000,000	871,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	実行委員によるSNSを使った事業周知や開催前にタウン誌等に取り上げられるなどしたため、村外からの来客が当初の想定より大幅に増加した。 また、レシートラリーの実施により、来村者がイベント会場に留まらず村中心部を周遊する光景も見られ、九戸村を内外に広く発信する機会となるとともに経済波及効果も絶大だった。
35	一戸町若者地域活性化アクション支援事業	一戸町	3,783,780	2,522,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	ソフト	県立北桜高等学校2年次の総合的探究の時間での伴奏支援については、担当の先生方も不慣れな部分があったため打ち合わせを重ね、介入ポイントの認識確認や生徒の情報共有等を図りスムーズに取り組むことができた。高校の全体発表会では、2年次生徒が取り組んだ成果を報告した。来年度は4月から開始したいと高校から要望があった。 自由に話し合える場の提供については、奥中山地区会場を設けたものの参加者はなかったが、昨年度参加のなかった中学生が1名参加した。周知方法を検討し新規参加者の増に繋げたい。 中高生のマイプロジェクトについては、大学生の伴走支援により計画作成から発表会までやり遂げた。参加者からはマイプロジェクトの活動が進学や就職へ活かされたとの声があった。イベント開催のスケジュール管理や調査依頼の方法については改善部分があるので指導したい。 発表会での観覧者からの意見を来年度に生かしたい。
36	いちのへまるごとフードフェスタ	一戸町	1,493,074	900,000	5 市町村事業	2 食産業	ソフト	好天に恵まれたほか、同日に町内各地でイベントが開催され、相乗効果も相まって昨年度よりも多くのお客様に御来場いただき、良いPRの場となった。地域経営推進費を活用して3年間継続実施することができ、イベントとしても定着しつつあると考えている。今後は、「食」をテーマとして食産業の振興を図ることを継承しつつ、町内事業者の更なる出店を促すとともに、交流人口の増加に繋がられるような事業を検討する。
37	カンオペア地域デジタル人材育成事業	一戸町	235,181	152,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	ソフト	北桜高校CTAの設立が8月だったことから、高校の年間スケジュールが既に決まっており、企業と高校の顔の見える関係を構築するための事業の調整が難しく、全学年を対象とした事業を同日開催することとなった。その中で、1年生については、今後の進路を考えるうえで参考となる講義とパネルディスカッションを開催したほか、企業1社の説明を受ける機会を設けた。2年生及び3年生については、高校卒業後または専門学校や大学卒業後の就職の選択肢となるよう地元企業の説明会を実施した。特にも3年生は既に進路は決定しているものの、進学後の就職や将来のUターンへの選択肢に地元企業が入るよう全生徒の参加とした。 事業後には生徒、先生、企業にアンケートを実施した。生徒からは、これまで知らなかった地元企業を知ることができたという声も多く、先生及び企業から継続開催を望む声が多かった。 今回の事業の反省・評価を踏まえ、令和7年度においては、高校の年間スケジュールの中で各学年に適した時期・内容での開催をすることで高校と調整を進めている。 検定等取得支援では、受検者数が予定を大きく下回ったものの、指標としていたITパスポートの受検者数については目標を達成することができた。7年度においてもDXに対応する資格を含め、就職に有利な資格取得を支援したい。
38	クアオルト健康ウォーキング導入事業	一戸町	4,480,720	2,987,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	ソフト	専門機関と連携しながらウォーキングコース候補地の調査を行った結果、奥中山高原及び一戸町総合運動公園の2施設をコース開設の適地として選定することができた。並行して、コース内案内看板制作配置に係る仕様やガイドマップ等の作成を行い、次年度のコース開設に向けての諸準備を進めることができた。 令和7年度はウォーキングコースの認定・開設に向けて、コース内看板の設置やガイドの養成講座の開催等、所要の整備を進めていくとともに、町内外に向けた適切な情報発信を行い、持続可能な健康づくりの推進に向けて取り組んでいきたい。
39	地域連携による餌料海藻確保対策事業	野田村	0	0	5 市町村事業	6 農林水産業	ソフト	洋野町での蓄養ウニの生産量及びその品質の維持・向上のためには、生のコンブの給餌が最適であること、野田村の空き養殖桁の活用に有効なことから効果的な事業である。また、磯焼けの発生により今後、餌不足が懸念されることから将来的な需要はあるものと考えられる。一方で短期的にみると需要と生産の均衡をとることが難しく、また安定した供給先の大幅な増加が見込まれない限り、生産量の大幅な増加は見込めない。 今後は、野田村の生産した生コンブの給餌効果の検証を通して、優良餌料として需要を喚起できる可能性についての研究も視野にいれる必要がある。

令和6年度地域経営推進費 事業評価結果一覧表

市町村事業

40	地域連携による餌料海藻確保対策事業	洋野町	843,045	374,000	5 市町村事業	6 農林水産業	ソフト	令和7年度も磯焼けの進行等による餌料不足が見込まれており、事業の継続により餌料海藻の確保と養殖技術の向上に取り組むたい。
41	若年者定着促進事業	二戸市	2,499,200	883,000	5 市町村事業	5 雇用環境の整備	ソフト	二つの成果指標は、いずれも目標達成とはならなかった。しかしながら、参加企業37社のうち高校3年生向け合同企業説明会、高校2年生以下向け地元企業PRイベントのどちらにも参加した企業は25社(68%)と3分の2を占めており、本事業に対する地元企業の期待は大きい。 来年度は、日程の見直しなどにより、参加企業、参加者の増を図る。
42	若年者定着促進事業	軽米町	2,499,200	266,000	5 市町村事業	5 雇用環境の整備	ソフト	二つの成果指標は、いずれも目標達成とはならなかった。しかしながら、参加企業37社のうち高校3年生向け合同企業説明会、高校2年生以下向け地元企業PRイベントのどちらにも参加した企業は25社(68%)と3分の2を占めており、本事業に対する地元企業の期待は大きい。 来年度は、日程の見直しなどにより、参加企業、参加者の増を図る。
43	若年者定着促進事業	九戸村	2,499,200	149,000	5 市町村事業	5 雇用環境の整備	ソフト	二つの成果指標は、いずれも目標達成とはならなかった。しかしながら、参加企業37社のうち高校3年生向け合同企業説明会、高校2年生以下向け地元企業PRイベントのどちらにも参加した企業は25社(68%)と3分の2を占めており、本事業に対する地元企業の期待は大きい。 来年度は、日程の見直しなどにより、参加企業、参加者の増を図る。
44	若年者定着促進事業	一戸町	2,499,200	366,000	5 市町村事業	5 雇用環境の整備	ソフト	二つの成果指標は、いずれも目標達成とはならなかった。しかしながら、参加企業37社のうち高校3年生向け合同企業説明会、高校2年生以下向け地元企業PRイベントのどちらにも参加した企業は25社(68%)と3分の2を占めており、本事業に対する地元企業の期待は大きい。
45	「誇れる地域資源を生かした産業・文化・防災」総合情報発信事業	普代村	5,978,784	3,333,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	ソフト	3年目となった本事業では、震災学習の受入数が増え、震災の記憶と教訓を多くの方々に伝えることができた。また、引き続きラジオを活用して、村の旬な話題や伝統文化、村民紹介、イベント情報など、番組やCMを通じて村内外へ情報発信することができた。リスナーメッセージをみると、毎年あるいは毎回聴いていただいた方々も多く、ラジオの活用促進にもつながったと考えられる。
46	ふるさと納税広告動画チャンネル作成事業	野田村	954,800	716,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	ソフト	広告事業を行い、多数の方々に「野田村」や「山葡萄ワイン」というものが表示されたことにより、野田村という存在を認識してくれる機会になったと考えられる。今回は、初めての広告事業ということもあり、関東より西方面をターゲットとしたが、関東・中部・近畿地方が反応が良い傾向(寄附に繋がった)があったため、来年度以降の広告事業の際にはその点も踏まえターゲットを絞っていききたい。 ふるさと納税広告ということで、ふるさと納税の寄附額を増やすことはできなかったが、広告のメインとした特産品「山葡萄ワイン」を返礼品として選んでくれる方が増加したことで、野田村の特産品を多くの方に手にとりいただくことができた。 また、今回作成した広告動画は、来年度以降も活用できることから、様々な場面でPRを行うためのツールとして活用していく。
47	地域間交流事業	野田村	615,244	429,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	ソフト	村の取り組みなどを紹介することにより、興味をもってくれた人たちから、「野田村に行ってみよう」との話もあり、交流人口拡大の一助になると思われる。また、どの事業も様々な人たちと対話での交流があり、特産品や取り組みのPRのみならず、交流の深化・発展にもつながるものと考えられる。
48	観光パンフレットインバウンド版データ作成事業	野田村	1,001,000	750,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	増加傾向にある外国人観光客の誘客を見据え、インバウンド対策として英語版の観光パンフレットデータを作成したことから、今後の更なる外国人観光客の誘客に活用するとともに野田村の認知度向上を図っていく。
49	塩の道を歩こう会40周年記念事業	野田村	300,000	225,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	塩の道を盛岡まで歩いたことで、沿線市町村の方や協力いただいた方など多くの人との関係が生まれ、今後の交流・発展につながるものと考えられる。また、塩の道をさらに掘り下げ、歩ける旧道を増やすことで野田村から内陸までの横トレイル「野田塩ベコの道」を確立させ、歴史・文化・地元出身者にとっての原風景を伝え、体感いただけるコンテンツとなると考える。
50	「のだむら映画祭」開催事業	野田村	988,773	386,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	映画を通じ震災の記録・記憶を繋いでいくことができた。また、野田村パエリアお振る舞いなど野田村の取り組み・魅力を知っていただくことができたと感じる。映画を核とし、来年度以降も本イベントを継続・深化していきたい。
51	野田村パエリアプロジェクト	野田村	1,095,600	821,000	5 市町村事業	2 食産業	ソフト	映画祭とのコラボ企画や新聞掲載・SNSを通じ野田村パエリアを村外にPRでき、多くの村民や関係・交流人口への認知につなげることができた。小野寺先生からのアドバイスも参考に、来年度以降も本イベントを継続・深化させていきたい。
合 計			161,749,646	75,619,000				

令和6年度地域経営推進費 事業評価結果一覧表

県事業

県北広域振興局

No.	名称		金額		事業コード			評価結果
	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
1	北いわて移住者定着支援事業	県北広域振興局	179,825	179,825	1 県・委託	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	首都圏等から久慈市・野田村・普代村に移住された方など13名に参加いただき、郷土料理体験づくりや自己紹介(ミニゲーム)を通して参加者間の交流を図ることができた。来年度は市町村の意見等も聞きながらより実効性の高い事業を検討していく。
2	カシオペア若者地域定着促進情報発信事業	県北広域振興局	1,980,000	1,980,000	1 県・委託	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	令和6年度は、リスナーアンケート調査(R5年12月)の内容を踏まえて、番組のテーマを移住や結婚を主とした内容に変更し、新たに移住コーディネーター等をゲストに迎える等、放送内容の充実化を図り、52回放送した。カシオペアFMに出演するゲストをSNS(Xアカウント)で紹介していたが、来年度はアーカイブ放送を紹介する等、地域の若者定着・結婚等につながる情報発信をより強化していく。
3	北いわてU・Iターン促進事業	県北広域振興局	1,701,250	1,701,250	1 県・委託	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	首都圏でのフェア出展やアンテナショップでのイベントを開催し、県北地域の認知度向上を図り、移住体験ツアーのPRなども連動して行い、ツアー参加に繋がるなど効果があった。来年度は、首都圏でのフェア出展を継続し、県北地域の認知度向上や関係人口の拡大を図りたい。
4	北いわて・子ども文化芸術体験ひろば	県北広域振興局	582,170	582,170	1 県・委託	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	児童等が文化芸術や民俗芸能を体験するイベントについては、予定人数を上回る児童が参加し、体験を通じた交流を図れた。一方、民俗芸能団体の派遣については、関係団体・機関との調整が難しく事業実施に繋がらなかったことから、来年度は各市町村との意見交換を行い事業内容を検討していく。
5	八戸圏域とのスポーツ交流・連携推進事業	県北広域振興局	97,000	97,000	4 県・上記以外	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	岩手ビッグブルズと青森ワッツの選手等を招聘し、スポーツ体験や選手及び他圏域の児童と交流する体験教室に52名参加した。参加児童のバスケットボールの経験の違いもあり、体験がうまくできなかったとの意見もあったことから、来年度は習熟度や経験の有無などを考慮して実施する。
6	就労継続支援事業所の経営支援事業	県北広域振興局 久慈地域障害者自立支援協議会	825,189	825,189	1 県・委託	8 子育て・福祉	1 ソフト	『えーびーマーケット』は令和5年度から開始し4回目となるが、地域住民の認知度が上がり、生産活動品の質の良さも理解され、売上額は増加している。モデル事業では、業務委託による研修、個別相談等を実施し、本格的に経営改善に取り組む事業所ではコンサルの助言を受けながら、大きな成果を上げていること、研修等で自分たちに不足しているものに気づき学びを深めるなど、経営改善の良い流れができていく。来年度も引き続き、モデル事業を実施し、他の事業所へも波及させていく。

令和6年度地域経営推進費 事業評価結果一覧表

7	アイばあちゃんのキャラバン隊 ～こころとからだの健康づくり～	県北広域振興局	116,136	116,136	4 県・上記以外	7 地域医療・健康づくり	1 ソフト	九戸村ボランティアと連携して地域住民を対象とした出前講座を開催し、特定の地区にフォーカスした啓発事業を開催した。一方で出前講座のチラシを全戸配布し周知を図ったが、参加者数が目標に届かなかったことや、男性の参加が無かったことから、来年度は、男性が参加いただけるよう、講座の内容等を工夫するとともに、事業所への働きかけ等により働き盛り世代の男性への働きかけを増やしていく。また、対象を軽米町に拡大し実施する。
8	北いわて出会い・結婚応援事業	県北広域振興局	2,095,750	2,095,750	1 県・委託	8 子育て・福祉	1 ソフト	人口減少対策(自然減対策)として、i-サポ新規会員登録者数確保については、市町村やi-サポ、商工会等と連携して普及啓発に取り組んだ。一方、出会いイベントについては、令和4年度から事業を組み替えるなどして実施し、カップルの成立などの成果はあったものの、最終的に結婚には至っていないことから、来年度は内容を見直し、本庁や市町村と連携しながら若者同士のインフォーマルな交流やネットワークづくりを後押しするなど若者のニーズに応じた多様な出会い創出に取り組む必要がある。
9	建設業ふれあい事業支援事業	(一社)岩手県建設業協会久慈支部青年部会 (一社)岩手県建設業協会二戸支部青年部会	24,000	23,834	2 県・補助	9 防災・危機管理	1 ソフト	岩手県建設業協会久慈支部青年部会及び岩手県建設業協会二戸支部青年部会と連携し、建設機械操作・乗車体験、ドローン操作体験などを令和4年度から令和6年度までに4校で行い、建設業へのイメージアップ、理解と関心を高めた。本事業は一定の成果を収めたことから今年度で終了する。
10	久慈地域公共交通利用促進事業	県北広域振興局 岩手県北自動車株式会社	304,060	209,000	2 県・補助	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	県北バス久慈大野線の商品券付き企画切符については、目標である販売枚数200枚を達成することができた。また、完売後も多くの需要があり、利用者のアンケートから、企画切符を利用することにより、公共交通(路線バス)への関心や地域の新たな楽しみ方を発見したという声が聞かれ、地域の活性化の一端を担うことができたと考える。来年度は、年度の前半と後半に販売数の上限を設けて、企画切符を年度後半にも活用できるようにし、沿線市町が実施する利用促進事業に企画切符を活用する際は、令和6年度利用促進事業において催行できなかったイベントに集中的に充当するなど、久慈大野線の利用者が増加するような工夫を行い事業を実施する。 なお、企画切符に連動したスタンプキャンペーンについては、当選者数を超える応募があり、目標は達成している。しかし、応募者は定期利用者や固定利用者が大半を占め、新規利用者の開拓をすることはできなかった。来年度は、期待した事業効果が得られていないことから、実施しないこととする。
11	久慈・二戸地域「ふれあいウォーキング」事業	県北広域振興局	378,184	378,184	1 県・委託	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	洋野町の水門、陸閘、防潮堤などのインフラ施設を見学するイベントを開催し、参加者36名に対するアンケートでは、多くの方からインフラ施設の役割や維持管理の重要性を理解したと回答いただいた。一方で、イベント開催を周知する期間が短かったことから、目標とする50名に達しなかったことから、来年度は、参加者の興味関心を惹きつけるような情報発信の内容や方法を考え集客に努める。

令和6年度地域経営推進費 事業評価結果一覧表

12	県北にのへ環境を守り育てる人材育成事業	県北広域振興局	607,800	607,800	1 県・委託	10 環境	1 ソフト	<p>県境不法投棄事案の出前授業については、2校95名に実施したが、来年度は事案を伝えるだけでなく、生徒が主体的に参加できるような取組に発展できるように内容の充実を図っていく。</p> <p>二戸地域環境塾については、環境分野に興味を持つ高校生を対象に福岡高校9名が参加したが、来年度は参加人数を増やすために参加対象を複数の高校や高校生以外にも広げ、見学施設も固定化せずに幅を持たせる。</p> <p>このへエコフェスタについては、令和5年度以降、来場者数及びエコキャラコンテスト応募作品数ともに低調のため、来年度は周知・募集方法の改善や、新規参加の企業・団体等の開拓を図る。</p>
13	北いわて再生可能エネルギー推進事業	県北広域振興局	224,447	224,447	4 県・上記以外	10 環境	1 ソフト	<p>一般(親子)向け普及啓発セミナーについては、61名(親子)が参加し地域住民向けの理解促進という目的を達成することができた。一方で、保護者を対象に実施したアンケート結果から、半数以上が県北管内で再生可能エネルギーの導入が進んでいることを認知していないことから、来年度も引き続き継続して開催場所を変えながら実施する。</p> <p>洋上風力発電等の地元企業向けセミナーについては、参加企業も着実に増加していることから、地元企業による理解促進が進んでいる。久慈地域では、洋上風力と平行して陸上風力発電の導入も進んでいることから、来年度は洋上風力発電との互換性がある陸上風力発電を題材に、地元との協調など先進的な取組を進めている企業からの講演を行う。</p> <p>北いわてと横浜市の交流連携事業については、今年度参加見送りのものの、来年度も継続して全市町村に出展意向があることから、連携連絡会などの場を通じて横浜市との関係性を継続していく。</p>
14	県北型GX自給飼料生産拡大実証事業	県北広域振興局	298,262	298,262	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<p>牧草地において作溝式播種機による追播種の実証展示や研修会を開催した。管内に広く周知することができず研修会参加者は6名と少なかったが、市町村担当者の出席により、今後、各地域の公共牧場での飼料生産向上の取組が期待できる。来年度は、牧草の収量調査等を行いコスト低減につながっていることを確認する。</p>
15	二戸地方農業DX導入支援事業	県北広域振興局	126,611	126,611	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<p>スマート農業技術を取り巻く情勢と活用事例を学ぶ研修会を2回開催し、理解促進及びスマート農業技術導入への機運醸成を図るとともに、管内農業経営体が必要とするスマート農業技術や導入に向けての課題を把握できた。来年度は、スマート農業技術の現地実証を行い、更なる機運醸成と課題解決への糸口を探っていきたい。</p>
16	ブランド果物育成支援事業	県北広域振興局 二戸地域りんご生産部会若者会	553,084	389,481	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<p>地域オリジナルブランドの育成に向けて、有望品種「雪いわて」の食味評価及び生産者による意見交換・市場調査を実施した。引き続き「雪いわて」の収穫適期について県北農業研究所の協力を得ながら調査を行い、評価をしたうえで、産地計画への導入を検討していく。</p>
17	集落営農組織等ジャンプアップ事業	県北広域振興局 二戸地方農林水産振興協議会	212,500	141,666	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<p>二戸地方農林水産振興協議会を実施主体とし、りんごにおける剪定作業の省力化のための電動剪定バサミを導入した。一方、国では、令和6年10月にスマート農業促進法を制定・施行し、スマート農業機器の導入を支援することとしており、本事業で想定した補助制度は、国庫補助事業等の活用が可能となり、来年度は事業内容を見直し、「二戸地方農業DX導入推進事業」と統合し、スマート農業機器の導入及び経営改善等の実証を一体的に行い、地域への導入を促進する。</p>

令和6年度地域経営推進費 事業評価結果一覧表

18	久慈地方野菜産地拡大加速化事業	県北広域振興局 久慈地方農業農村活性化推進協議会	714,122	548,218	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	栽培技術先進産地研修や見学ツアーなどにより、野菜品目の単収向上及び面積拡大が進んだ。その結果、事業目標である販売額は年度目標を大きく超えて達成することが出来た。一方で、今年度は単価も高く推移し販売額の増加に貢献したが、単価は他産地に影響されやすく今後も高単価を維持するかは不透明である。来年度も販売額を増加させ産地の維持拡大を図るため、継続して取組を実施する。
19	新規就「業」者確保定着推進事業	県北広域振興局 久慈地方農業農村活性化推進協議会	1,194,543	803,025	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	県内外の就農相談イベントを通じ、県外の就農志向者へ地域の農業や移住定住支援の情報発信を行うことで、就農及び定住候補地としての久慈地域の魅力をPRし、就農希望者や新規就農者に、農業と組み合わせ可能な地域の仕事や就農・移住支援情報を盛り込んだガイドブックを提示したところ、相談者数が22組25名となり、農閑期の所得の確保や農業と組み合わせ可能な地域の仕事について関心が得られた。また、就農相談イベントをきっかけに、オンライン現場視察に県外の就農志向者2名が参加し、地域への就農に対する理解醸成に繋げることができた。 来年度も県内外の就農相談イベントや地域の就農相談会でガイドブックと動画を活用した情報発信を行うとともに、自営就農のほか、雇用就農や地域おこし協力隊等、地域の農業に関わる仕事へ関心を持つ相談者のニーズに応え、地域の農業に関わる仕事を紹介するパンフレットを作成し配布することで、久慈地域への関心を高め、移住や就農の具体的なイメージ形成を図るとともに、新規就農者の確保に繋げていく。
20	南部アカマツ流通開拓促進事業	県北広域振興局	144,699	144,699	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	神社仏閣等の修繕事業の事業主体や修繕専門工務店へのリーフレットの配布に加え、京都でのワークショップ・流通業者への聞き取り調査等でのPRにより久慈地方の高品質なアカマツ材の知名度向上に寄与したが、関係者のアカマツ材に関する認識が低い・使用する木の種類は施主の意向が大いに反映されることなどから、実際の取引には繋がらない結果となった。来年度は、県のホームページやSNSでの発信を中心として久慈地域の南部アカマツのPRを継続していく。
21	林業・木材産業新規就業者確保支援事業	久慈地方「木の仕事」協議会	585,125	390,083	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	林業就業相談会や体験型林業・木材講座を開催することにより、林業・木材産業への新規採用者が確保(協議会内新規採用者R6:9名、R5:4名)された。来年度も継続した就業支援を行う必要があり、久慈翔北高校(環境緑化系列)での体験型林業・木材講座に加え、管内の他の高校での出前授業、岩手県林業労働対策基金等を活用した求職者とのマッチング及び就職説明会(森林の仕事ガイダンス等)に参加する。
22	久慈地方原木しいたけ付加価値向上推進事業	久慈地方しいたけ産業振興協議会	156,376	150,120	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	イベントでの販促活動は、早い段階での売り切れが出るなどの反省を踏まえて販売数を増やすことにより、久慈地域の原木しいたけを地域内外に大いにPRすることができた。また、栽培技術向上研修も3年間テーマを変えて実施することができたため生産者の技術や意欲向上が図られ、新商品開発は3年間でレシピ化まで至ることができた。来年度は、木炭と一体となったPR活動の実施、研修開催や新商品開発でのレシピを活かした商品化に向けて取り組むことにより、原木しいたけの更なる生産振興を図る。

令和6年度地域経営推進費 事業評価結果一覧表

23	日本一の北いわて木炭産業振興推進事業	北いわて木炭産業振興協議会	475,494	368,916	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	地元の食材と木炭、生鮮小売業者と木炭生産者とのコラボレーションや「いわて木炭伝道師」の認定など、全体を通じて、バイオ炭(脱炭素に有効と新たな付加価値(証明書)を有した炭化物)による農家と木炭生産者と購入企業等との連携づくりを進める岩手木炭の利用の新たなシーンの創出に向けて事業を進められた。来年度も引き続き地域に根ざした取り組みを若手から熟練者までを含めて実施していく。
24	浄法寺漆資源確保支援事業	県北広域振興局	579,690	579,690	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	ウルシ苗木生産の省力化実証、ウルシ林の健全育成支援研修会、獣害対策の研修会を開催した。今後も市町村・関係機関と連携しながらウルシ苗木生産作業の省力化と苗質の向上、安定供給体制の構築に取り組んでいく。
25	自伐型林業スタートアップ支援事業	県北広域振興局	156,596	156,596	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	九戸村の地域おこし協力隊の方は、林業経験が無く、伐木技術の向上、労働安全意識の醸成が重要であり、岩手県伐木技術指導員から直接指導を受けられる機会は貴重であった。また、現状では自伐型林業だけで生計を立てることは難しいため、林業会社を起業した方の話や、森林を活用した様々な事業を展開する会社を視察したことは、協力隊の更なる活動の進展と地元定着の一助となった。協力隊OBが伐木技術の指導等ができるようになりつつあることから、今後は、各種資格、研修等について、九戸村を通して情報提供していくこととする。
26	浜の担い手確保育成事業	県北広域振興局	202,871	202,871	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	高校生を対象とした体験学習を1回、関連する座学を5回実施し、漁業の現場に対する理解・興味を深められた。来年度は、久慈翔北高校(旧久慈東高校)と連携して座学及び漁業体験を実施するとともに、当初のスケジュールが中止になった場合に備えて代替となる体験学習プログラムを事前に提案する。 また、採介藻漁業者と漁船漁業者を対象とした安全講習を実施し、アワビ漁業期間中にも事故等は発生しなかった。来年度については、引き続き採介藻業者、漁船漁業者及び定置網漁業関係者を対象とした講習会を企画・開催する。
27	県北型新漁法チャレンジ事業	県北広域振興局	1,247,625	1,247,625	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	令和5～6年度の漁獲試験の結果、ある程度サワラ等暖水系魚種資源の存在が示唆された。併せて、針の根がかり及び縄の絡まりが多発するなど、山形県との海底地形及び潮流の違いが漁法に影響を及ぼすことが判明し、漁法の改善点が把握できた。 今後は水深20～30mで、10～12月を中心にサワラの他、マダイ、トラフグ等を漁獲できた結果を踏まえ、採算が取れる漁獲水準を目標とした試験操業を検討する。
28	農水連携ウニ蓄養事業	県北広域振興局	916,348	916,348	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	令和4年度から3か年の事業を通じて、ウニの蓄養に使用できる未利用農産物の選定、ウニの食味成分に与える影響の分析、水産業の現場へ普及させるための飼育方法の検討ができた。ハウレンソウ給餌後の食味の改善やリンゴの給餌方法について課題を残す結果となったため、今後漁協等と連携し、水温の高い時期に検討する。

令和6年度地域経営推進費 事業評価結果一覧表

県事業

29	県北地域における「海業」推進対策事業	県北広域振興局	574,833	574,833	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	久慈地域「海の幸」PR協議会の総会、作業部会を通じて、関係者間の海業に対する理解醸成を図り、同協議会が海業の推進に取り組む体制づくりができた。また、先進地視察により、具体的な取り組み方法についても理解を深めることができたことから、来年度は、地域コンテンツを発掘し、ブラッシュアップを図っていく。
30	久慈地域魚食普及推進事業	久慈地域「海の幸」PR協議会	517,000	344,000	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	久慈育ち琥珀サーモンの短編PR動画を3種類作成するなど、久慈地域「海の幸」PR協議会会員である管内漁協及び市町村の要望に対応した成果物が作成でき、且つ一般消費者の地場海産物の利用促進に寄与できた。SNSで成果物は公開はしているが、紙での使用希望の声が来ているため、来年度は随時印刷する。
31	北いわて食産業魅力発信事業	県北広域振興局	652,677	652,677	4 県・上記以外	2 食産業	1 ソフト	<p>ツアー参加者が所属する企業での県北食材の購入や、ツアー参加者が経営する飲食店での県北食材を使ったメニュー提供など、県外や首都圏への販路拡大につながった。また、県北食材を使った商品開発の提案を受け、実際に商品化したものもあり、商品ブラッシュアップや商品付加価値向上につながった。また、ツアー開催後に、ツアー参加者が個別に県北地域を訪問し、ツアー参加事業者以外の食産業事業者とも商談が行われ、ツアーをきっかけにした新たな広がりが見られた。一方でツアー参加者が求める規格・ロット数・納期等に対し、生産量や人材不足等の問題から事業者が対応できないことや、商談会やツアー等に積極的に参加し販路拡大に意欲のある事業者が固定化されてきていることが課題である。また、バイヤーはSNSやHPで商品情報の収集や発注等を行う場合が多い一方、県北地域の事業者はSNSに慣れていない事業者が多く、情報発信力の強化が必要と思われる。</p> <p>来年度は、新たな販路拡大等に意欲のある事業者を掘り起こすため、招聘ツアーの先進事例発表を行い管内事業者への横展開を図るとともに、情報発信力を強化するセミナー及び専門家派遣を実施し事業者の情報発信力やブランド力の強化を図る。</p>
32	北いわての「食・技」販路拡大促進事業	県北広域振興局	1,746,376	1,746,376	1 県・委託	2 食産業	1 ソフト	<p>盛岡での物産PRイベントは、引き続き沿岸局と合同で開催し、3日間の開催であったが、人手不足のため全日参加することができない事業者もいた。出展者からは「盛岡ではどの商品が興味を引くのか傾向がわかった」、「商品アピールができた」等の意見があった。</p> <p>青森県三八地域における物産PRイベントの開催では、出展者から「今までの物産イベントの中でも高い売上げが得られた」、「次回も出展したい」等の意見があった。イベント実施後、出展者の中には、ラピアで販売会を独自開催したほか、いわて銀河プラザの販売会等に出展していたことから、本イベントを契機に出展者の販売意欲の向上につながった。</p> <p>来年度においては、盛岡での開催を取り止め、青森県のみで開催とし、開催日数を2日間で調整し開催する。</p>

令和6年度地域経営推進費 事業評価結果一覧表

33	北いわてアパレル産業認知度向上支援事業	県北広域振興局	546,290	546,290	3 県・負担金	1 ものづくり産業	1 ソフト	<p>本庁事業(いわてアパレルフェスタ)に北いわてアパレル産業振興会パンフレットの配架などにより、認知度向上が図られた。また、令和6年度に制作された作品だけでなく、過去に制作された作品も併せて展示することで、これまでのファッションショーの歴史と新しい全県版のファッションショーのつながりを感じることができたほか、ビジネスマッチングにより8社13件の成約となった。来年度は広域振興事業と連動し、より効果的な事業となるよう情報発信の取組を強化する。</p>
34	北いわてものづくり産業人材育成・交流推進事業	県北広域振興局	905,743	905,743	3 県・負担金	1 ものづくり産業	1 ソフト	<p>県北ものづくり改善塾については、自社の課題を持参する方式で実施し、計6回10社14名参加した。修了生からは今後自社で改善の取組を続けていきたい等前向きな意見をいただいたほか、派遣元企業からも改善塾に参加させた効果について評価をいただいております。県北地域の製造業の業務効率改善に繋がる取組となった。一方、近年参加企業が固定化しているため、周知の機会を新たに設ける等、加企業開拓、参加者数増加を図りたい。</p> <p>教員向け事業所見学会については、計2回8名参加し、「直接経営者から話を聞き、会社の印象が変わった。」「自分の目で見ること、その会社らしさを知ることにつながった。」などの感想をいただき、教員の管内企業に対する理解が図られた。</p> <p>来年度は、県北地域ものづくり産業ネットワークと連携し、県北ものづくり改善塾やフォローアップ研修を通じて、企業の生産性向上及び従業員の技術力向上に向けた人材育成に取り組む。</p>
35	北いわてインバウンド新戦略事業	県北広域振興局	497,700	497,700	1 県・委託	3 観光産業	1 ソフト	<p>欧米の旅行会社等を対象としたトレイルFAMツアーを宮古地域振興センターと連携して実施し、みちのく潮風トレイルについてPRした。今後は、本事業により判明した外国人受入体制等の課題解決や、地域の更なる魅力発信により誘客拡大を図っていく。</p>
36	カシオペア地域商工観光連携推進事業	二戸地区広域商工観光推進協議会 折爪岳振興協議会	4,778,834	1,757,000	2 県・補助	3 観光産業	1 ソフト	<p>魅力ある事業者成長促進支援事業では、地場産業の意欲ある取組を6件支援した。来年度は地域体験メニュー補助金と統合し、地場産業の振興や交流人口拡大に向けた取組を支援する。</p> <p>温泉施設等と連携したカシオペア連邦周遊事業では、じゃじゃじゃTVやrakraを活用し、二戸の温泉施設やカフェ等の魅力を発信し、施設の誘客につなげることができた。</p> <p>広域観光情報発信事業では、カシオペアアクセスマップを二戸駅起点に作り変えることにより、JRや二戸駅を利用してきた観光客の利便性向上を図ることが出来た。来年度は、歴史資源を活用し、県外からの周遊促進に向けた事業を実施する。</p> <p>体験交流プログラム新規企画・内容拡充支援事業では、走り学ぶ体験メニューを実施した。来年度は、補助金事業を統合し、引き続き交流人口の拡大に向けた取組を行っていく。</p> <p>折爪馬仙峡県立自然公園活用事業では、学習体験型イベントやウォーキングイベント等を開催したほか、ガイド養成講座受講者がガイドとして携わり、折爪岳やヒメボタルについて理解を深めることが出来た。来年度は、自然体験イベントの造成やヒメボタル保存活用事業等による誘客及びヒメボタルの保護の取組を支援する。</p>

令和6年度地域経営推進費 事業評価結果一覧表

37	北いわて仕事情報発信事業	県北広域振興局	1,028,472	1,028,472	1 県・委託	5 雇用環境の整備	1 ソフト	<p>本庁主催事業のTHEいわてDAY2024へ出展し、県北地域の企業情報等のPRを通じて若者の地元定着やU・Iターンの促進を図った。一方で来場者数の減少などにより相談者数が6名と目標の10名に届かなかったことから、来年度は市町村との連携をより強化し、広く事業周知を図る。</p> <p>本庁やジョブカフェいわて等と連携し、岩手大学のキャリア講座に県北企業1社を派遣し、学生(100名)と企業との接点を創出する取組を開催した。一方で、大学生へのアプローチは、振興局だけでは困難であることから、引き続き、本庁やジョブカフェいわて等と連携し、大学生と企業との接点を創出する取組を検討する。</p> <p>北いわて企業ガイドブックを1,500部作成し、首都圏での移住フェアや県北地域の二十歳の集い等で配布した。来年度は、配布先や配布場所等を再検討し、より効果的なPRにつなげる。</p> <p>福岡高校で実施した総合探求を活用したキャリア講座では、卒業生を講師に招聘するなどして生徒の関心を喚起するとともにUターン就職への意識の醸成を図った。一方で、県北地域では進学をきっかけに地元を離れるケースが多いことから、引き続き進学校等でのキャリア講座の充実を図る。</p>
38	歴史資源を活用した観光振興事業	県北広域振興局	367,130	367,130	4 県・上記以外	3 観光産業	1 ソフト	<p>北いわて・お城コンシェルジュの久保井朝美氏を招聘した研修会においては、当初の目標である40人を上回る参加者があり、「九戸城」を中心とした県北地域の歴史資源を活かした交流人口拡大への意識醸成が図られた。一方で、「九戸城」をはじめとした歴史資源を活用した情報発信の機会が少ない等の課題があり、来年度は、北いわて・お城コンシェルジュの久保井朝美氏によるSNS投稿や新たに制作した「九戸政実」をプリントしたアクリルスタンドの活用等を通じて、情報発信の強化を図る。</p>
合 計			28,294,812	23,905,017				